

LS9 V1.1 追補マニュアル

LS9ファームウェアV1.1では、V1.0から以下の変更がございます。

V1.1での変更点

- ・ SCENE PLAYBACK LINK画面が追加されました。あるシーンをリコールしたときに、USBメモリー内の特定のオーディオファイルが再生されるようにリンク設定できます。詳しくは、「シーンのリコールとオーディオファイルの再生をリンクする」をご参照ください。
- ・ ユーザー定義キーに割り当て可能な機能としてDIRECT PLAYが追加されました。この機能を割り当てたユーザー定義キーを押すと、指定したオーディオファイルを再生開始します。キーを押すたびに曲の先頭から再生します。再生するオーディオファイルは、USER DEFINED KEY SETUPポップアップウィンドウのPARAMETER 2フィールドで指定します。

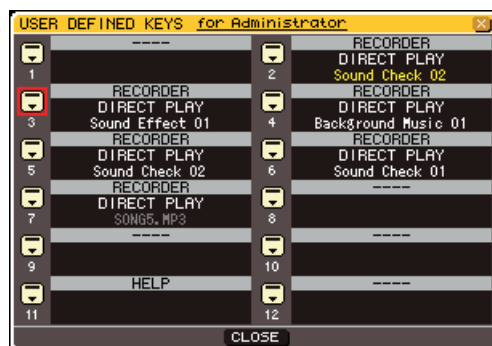
NOTE

- ・ 再生するオーディオファイルは、YPEフォルダーの中のSONGSフォルダーに保存してください。ルートディレクトリーやその他のフォルダーに保存しても、指定できませんのでご注意ください。また再生を実行すると、TITLE LIST画面のパスは、\YPE\SONGS\に移動します。
- ・ 録音中や録音待機中は、再生できません。
- ・ 再生モードの設定にかかわらず、指定されたオーディオファイルは1回だけ再生されます。
- ・ 指定したファイルは、ファイル名8文字+拡張子3文字で識別されます。指定後にファイル名を変更したり、ファイルの削除やコピーを繰り返すと、指定したファイルがまれに識別できなくなることがあります。
- ・ USER DEFINED KEY SETUPポップアップウィンドウのPARAMETER 2フィールドでは、オーディオファイルのソングタイトルまたはファイル名が表示されます。どちらを表示するかは、TITLE LIST画面のSONG TITLE/FILE NAMEボタンで設定します。



NOTE

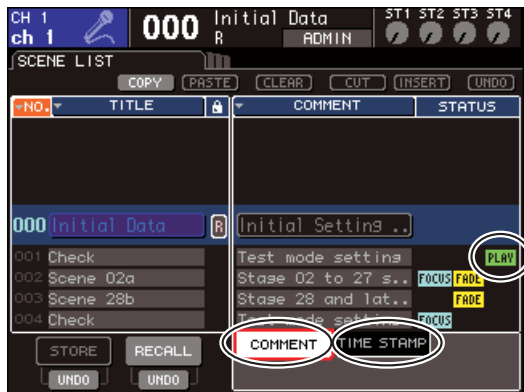
- ・ DIRECT PLAY機能を割り当てると、USER DEFINED KEYSポップアップウィンドウでも以下のようにソングタイトルまたはファイル名が表示されます。指定したファイルがなくなった場合はファイル名が黒色で、ファイルを識別できなくなった場合はソングタイトルまたはファイル名が黄色で表示されます。



- ・ TITLE LIST画面で、ソングタイトルとファイル名を切り替えて表示できるようになりました。SONG TITLE/FILE NAMEボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと表示が切り替わります。



- ・ SCENE LIST 画面にシーンのコメントを表示できるようになりました。画面右下の COMMENT タブと TIME STAMP タブで表示を切り替えます。また、シーンにオーディオファイルがリンクされている場合は、STATUS フィールドに PLAY インジケータが表示されるようになりました。

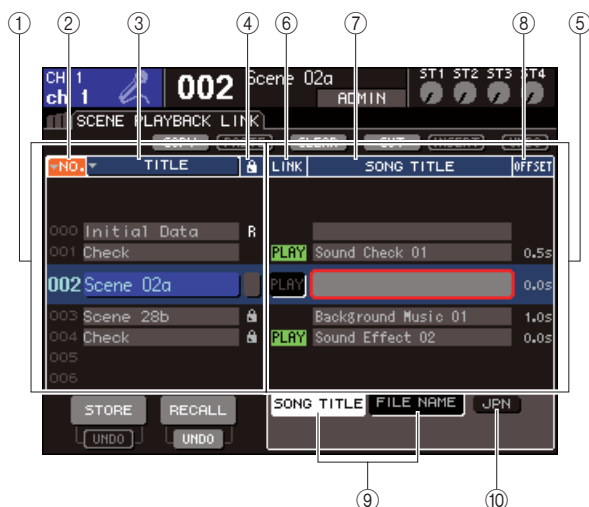


シーンのリコールとオーディオファイルの再生をリンクする

あるシーンをリコールしたときに、USBメモリー内の特定のオーディオファイルが再生されるようにリンク設定できます。特定の場面で効果音やBGMを自動再生したいときに便利です。

シーンのリコールとオーディオファイルの再生をリンクさせるには、次のように操作します。

- 1 オーディオファイルを保存したUSBメモリーをUSB端子に装着します。
- 2 DISPLAY ACCESS セクションの [SCENE MEMORY] キーを繰り返し押し、SCENE PLAYBACK LINK 画面を表示させます。



① シーンリスト

ソング(オーディオファイル)を割り当てるシーンのリストです。リスト中央の青い背景の列が、操作の対象として選ばれているシーンです。

② No.(シーン番号)

③ TITLE(シーンタイトル)

④ プロテクト

それぞれシーンの番号、タイトル、プロテクトの有無を表示します。

⑤ ソングリスト

リンク対象となるソング(オーディオファイル)のリストです。リスト中央の青い背景の列が、操作の対象として選ばれているファイルです。

⑥ LINK(リンク)

それぞれのシーンからオーディオファイルへのリンクが有効かどうかを表示します。リンクが有効の場合は、PLAYインジケータが表示されます。ファイルが選択されていても、PLAYインジケータがオフの場合は、リコール時にオーディオファイルは再生されません。

⑦ SONG TITLE/FILE NAME(ソングタイトル/ファイル名)フィールド

オーディオファイルのタイトルまたはファイル名を表示します。

NOTE

- 再生するオーディオファイルは、YPE フォルダの中の SONGS フォルダに保存してください。ルートディレクトリーやその他のフォルダに保存しても、選択できませんのでご注意ください。また再生を実行すると、TITLE LIST 画面のパスは、\YPE\SONGS\に移動します。
- 指定したファイルがなくなった場合はファイル名が黒色で、ファイルを識別できなくなった場合はソングタイトルまたはファイル名が黄色で表示されます。
- リンク対象のファイルは、ファイル名8文字+拡張子3文字で識別されます。リンク設定後にファイル名を変更したり、ファイルの削除やコピーを繰り返すと、リンクしたファイルがまれに識別できなくなることがあります。

⑧ OFFSET(オフセット時間)

リコール操作のあとで、対応するオーディオファイルの再生が開始されるまでの時間を表示します。

⑨ SONG TITLE/FILE NAME ボタン

SONG TITLE/FILE NAME フィールドに表示させる要素を選択するボタンです。

⑩ JPN ボタン

このボタンをオンにすると、ソングタイトルをシフトJISコード(2バイトコード)に対応した日本語で表示します。

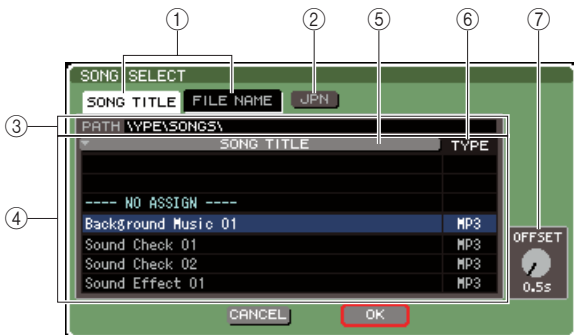
NOTE

- SCENE PLAYBACK LINK 画面のその他の項目については、SCENE LIST 画面と共通です(→LS9 取扱説明書P.134)。

3 ダイヤルまたは[DEC]/[INC]キーを操作して、ソングを割り当てたいシーンをシーンリスト中央に表示させます。

4 SONG TITLE/FILE NAME フィールドのリスト中央にある青い背景部分にカーソルを合わせ、[ENTER]キーを押します。

オーディオファイルを選択する SONG SELECT ポップアップウィンドウが表示されます。



① SONG TITLE/FILE NAME ボタン

ソングリストに表示させる要素(ソングタイトルまたはファイル名)を選択するボタンです。

② JPN ボタン

このボタンをオンにすると、ソングタイトルをシフトJISコード(2バイトコード)に対応した日本語で表示します。

③ PATH フィールド

オーディオファイルが保存されているフォルダのパス(\YPE\SONGS\)を表示します。変更はできません。

④ ソングリスト

SONGS フォルダ内に含まれる再生可能なオーディオファイルを表示します。

HINT

- 表示可能なオーディオファイルの数は最大300です。
- 再生可能なオーディオファイル以外のファイルは表示されません。

⑤ SONG TITLE/FILE NAME(ソングタイトル/ファイル名)

このボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと、ソングタイトル/ファイル名が数字/アルファベット順に並び替えられます。[ENTER]キーを押すたびに昇順と降順が入れ替わります。

⑥ TYPE(タイプ)

オーディオファイルのタイプを表示します。表示の意味は次のとおりです。

- MP3.....MPEG-1 Audio Layer-3
- WMAWindows Media Audio
- AAC.....MPEG4 AAC

⑦ OFFSET(オフセット時間)

リコール操作のあとで、対応するオーディオファイルの再生が開始されるまでの時間を設定します。

5 ダイヤルまたは[DEC]/[INC]キーを操作してソングリストをスクロールさせ、シーンにリンクさせたいファイルを中央の青い背景部分に合わせます。

6 必要に応じて、OFFSETノブにカーソルを合わせ、ダイヤルまたは[DEC]/[INC]キーを操作して、オーディオファイルが再生されるまでのオフセット時間を設定します。

オフセット時間は、0~99secの範囲を0.5sec単位で設定できます。

7 OKボタンにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。

ポップアップウィンドウが閉じて、SCENE PLAYBACK LINK画面に戻ります。このとき、ソングリストの中央に、選択したファイルのタイトルまたはファイル名が表示されます。

なお、OKボタンの代わりにCANCELボタンを選んだ場合は、設定内容を破棄してSCENE PLAYBACK LINK画面に戻ります。

8 LINKフィールドにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押し、オーディオファイルへのリンクをオンに設定します。

LINKフィールドにPLAYインジケータが表示されず。また、SCENE LIST画面のSTATUSフィールドにもPLAYインジケータが表示されます。



9 手順3～8を繰り返して、他のシーンについても同様にオーディオファイルを割り当てます。

HINT

- ・その他、オーディオファイルの再生を操作する方法として、MIDIのMMCコマンドを使って外部機器からリモートコントロールする方法(→LS9取扱説明書P.186)や、ユーザー定義キーにDIRECT PLAY機能を割り当ててオーディオファイルを直接再生する方法があります。

10 オーディオファイルをリンクしたシーンをリコールします。

オフセット時間を経過後、オーディオファイルが1回だけ再生されます。

NOTE

- ・シーンをリコールしてからオフセット時間が経過するまでは、常時表示エリアにカウントダウンが表示されます。
- ・録音中や録音待機中は、再生できません。
- ・シーンリコール時に再生中の別のソングがあった場合、オフセット時間の設定にかかわらず、再生中のソングはリコール時に停止します。
- ・再生モードの設定にかかわらず、リンクされたオーディオファイルは1回だけ再生されます。